



齊藤 雅也

SAITO Masaya

ロート製薬
取締役副社長兼CFO



「健康」という価値提供により、 「Well-being」な世界を

当社では、2030年に向けたグループの総合経営ビジョンとして「Connect for Well-being」を掲げています。われわれがめざす「Well-being」とは、身体も心もイキイキとし、さまざまなライフステージにおいて笑顔あふれる幸せな毎日を過ごすことです。世界の人々が「Well-being」を実感できる時間を少しでも長く持てるよう、医薬品や化粧品、機能性食品などさまざまな分野で事業を展開することにより、また、社内外を問わず、人と人、組織と組織をしっかりとつなげることにより、「Well-being」の実現に向けた取り組みを進めています。

私は社内のサステナビリティ委員会の委員長も務めています。この「Connect for Well-being」の概念は、広い意味で、サステナブルな社会、そして健康な社会の実現につながるものと考えています。

当社は、現在、アジアや米国、欧州、中東、さらにはアフリカとグローバルに事業を展開しています。私自身も30歳のころから12年間ベトナムに駐在し、ロート・メンソレータム・ベトナム社の立ち上げに携わるといった経験もしました。こうしたグローバル化への大きな契機となったのが、1988年のメンソレータム社（米国）の経営権の取得です。「世界の健康課題の解決に貢献していく」というビジネスの軸は、その当時も今も変わりませんが、コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻の影響でサプライチェーンが分断されるなど、昨今のビジネス環境はかなり厳しくなっていると実感しています。当社では、もともと開発や製造、マーケティングについてはそれぞれ現地に自社資源を持ち、地域ごとに完結できる体制作りを行ってきたため、直接的な影響は出ていませんが、今後予想される激しい環境変化にも柔軟に対応できるよう、体制を見直しているところです。

関経連ではスポーツ振興委員会の副委員長を務めています。企業がスポーツを通じて社会貢献を行う方法はさまざまですが、当社ではサッカーやバスケットボールのプロチームのサポートのほか、卓球教室の開催、子どもたちの卓球大会への協賛などを行っています。卓球や水泳のように、だれもが気軽に参加でき、継続して楽しめるスポーツは、健康増進やレクリエーションにも役立ちます。従業員がこうした生涯スポーツに親しむための環境づくりを含め、長年、健康経営に取り組んでいます。こうして健康人材を育成することで、彼らのポジティブなエネルギーが社会そして次世代へと健康の輪を広げていくことにつながればと考えています。

健康の輪を広げる一助として、もっと多くの皆さんが、気軽に、手軽に、スポーツに親しみ、長く続けられる環境づくりに貢献したいとの思いもあります。関経連の活動を通じて皆さまの身体と心の活性化や、スポーツをする仲間同士の交流を深めるお手伝いができれば幸いです。

私は大阪生まれで、高校、大学も大阪でしたから、大阪・関西への愛着はひとしおです。コロナ禍によってこれまで頻繁だった海外との往来がストップしたことを奇貨として、関西各地を巡りました。それぞれの土地の文化や歴史にあらためてじっくりと触れてみることで、その奥深さに気づくことができました。この地で創業した当社には、関西企業としてのアイデンティティーが今も変わることなく受け継がれています。まずは2年後の2025年大阪・関西万博に向けて、関西の発展や成長に貢献していきたいと思っています。

（談）